



## 特集 高圧ガス

高圧ガスポンペを点検しよう！  
生田 ガスボンベ庫 完成！  
黒川農場にキャビネット設置

- 1 即席カップめん類 食べていますか？ / PCB廃棄物排出
- 2 生田安全管理センター メンバー紹介
- 3 創刊にあたって / 中期計画とセンター / レーザー調査・講演会
- 4 化学薬品の使用管理 / 2018年度安全教育講習会実績 / 編集後記

## 特集 高圧ガスを安全に取り扱うために、高圧ガスポンペを点検しよう！ ボンベ庫、シリンダーキャビネット設置工事が完了！



高圧ガスは装置や実験に多用されていますが、取り扱いを誤れば大きな事故につながります。当センターでは、高圧ガス関係専門部会を設置し、**高圧ガス安全マニュアル**を作成しました。

〔写真左：第3回 高圧ガス関係専門部会（2018年12月21日 生田キャンパス 中央校舎）〕

利用者におかれましては、高圧ガスポンペの転倒防止対策や漏えいの有無を点検し、事故の未然防止に努めていただくようお願いします。

また、安全対策として計画していたボンベ庫およびシリンダーキャビネット（写真下）の設置が完了しました。当センターでは、引き続き高圧ガス安全利用の推進に取り組んでまいります。



農学部ガスボンベ庫  
(生田キャンパス 第一校舎3号館南側)



シリンダーキャビネット  
(黒川農場1-207室)

## PCB廃棄物排出



2018年12月17日、高濃度ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の一部（生田キャンパス分：約285kg）を、中間貯蔵・環境安全事業株式会社東京PCB 処理事業所へ排出しました。2019年1月21日までに、中間処理を終了しました。

当法人では、今後もPCB 廃棄物の適正処理に取り組みます。

## 即席カップめん類 食べていますか？

カップラーメン、即席やきそばなど、調理も簡単で、お腹を満たしてくれます。ところが、**実験室の流しに茹で汁や残り汁を捨てると大問題に！**



地域環境保全のため、川崎市上下水道局は、年に数回、予告なく水質調査をします。排除基準を超えた動植物性油脂がキャンパス外へ流れると、下水道法違反に問われます。

生田キャンパスでは、他キャンパスと比べて食事の調達場所が限られます。研究が夜間に継続すると、即席カップめん類に頼らざるを得ない、という現状があります。生田キャンパスでの食料事情改善が望まれると同時に、当センターでも、汁の廃棄方法をわかりやすく説明していきます。





## 生田安全管理センター メンバー紹介

2019年3月 現在



## 創刊にあたって

生田安全管理センターは、生田キャンパスと黒川農場において教職員および学生等の安全安心を確保し、適切な教育研究環境を維持することを目的として、2013年9月に設置されました。理工学部と農学部では、人体や周辺環境に配慮を要する薬品・機器等を数多く保有しており、事故や環境汚染等の未然防止に十分な配慮が必要です。センターでは運営委員会において安全に関する様々な事項について審議して、関連する教職員および学生等に必要事項の徹底した周知を実施してきています。ここに、明治大学あんげんだよりが発刊できますこと、また、これまでのセンターの運営にご理解を戴いておりますことを心よりお礼申し上げます。

環境問題への取り組みとして、センターでは日常的に生田キャンパスにおける各研究室や実験室を調査し、助言・指導しています。特に、多くの研究室で薬品、高圧ガスが使用されており、法令に沿った適切な管理が重要です。放射性物質、実験廃棄物、実験排水などについても適正な処理を継続することが求められており、安全安心なキャンパスを維持するために、今後とも関係者各位のご協力をお願いいたします。



生田安全管理センター長 常勤理事  
理工学部専任教授 荒川 利治



## 学校法人明治大学中期計画と生田安全管理センター

明治大学が将来にわたり「新しい知の創造」および「時代の要請に応える人材の育成」の拠点であり続けるために策定された「学校法人明治大学長期ビジョン」(2011年)に基づく「第2期中期計画」(2018年度～2021年度)における生田安全管理センターに関わる内容を紹介します。第7章 組織・運営体制の第1節 防災・危機管理に、「理系の教育研究環境を維持するための安全管理体制の整備」を目標として、以下の計画に取り組んでいます。

1. 高圧ガスの管理方法や局所排気装置の年次点検など、新規に整備が必要なマニュアル類の他、運用中のマニュアル類についても見直し・整備を行う。
2. 安全教育講習会を開催し、各種ルールの周知を行う。
3. 薬品類の使用実態を把握する。理系教育研究環境維持のための安全管理体制を検討する。



学校法人明治大学 中期計画解説ページは  
5553



第7回 放射線関係専門部会  
(2018年6月20日 生田キャンパス 中央校舎)

## レーザー機器調査を実施 講演会を共催しました

放射線関係専門部会では、2017年12月、生田キャンパス・黒川農場を対象に、レーザー機器利用調査を実施しました。結果115台のレーザー機器(クラス3R以上)が確認されました。

レーザーに関して、教育分野における法令上の規制はありません。一方、その危険性に鑑み、当センターでは、利用者安全教育の観点から、講演会を共催することとしました。



当センターでは、2019年1月25日、光科学研究講演会を共催しました。(主催：理工学部物理学科、共催：特定課題研究ユニット 量子機能性材料開発研究所、生田安全管理センター、写真右2点)

講師に長島優先生(東京大学医学部附属病院 神経内科 助教)を招聘し、レーザー光による人体の障害について御講演いただきました。

当日は、教職員13名、学生17名の聴講があり、予定時間を超えて熱心な質疑応答が繰り広げられました。

## 化学薬品の適切な使用・管理を！

生田キャンパスや黒川農場では日常的に化学薬品が使用されており、その中には健康や環境に被害を及ぼす有害なものや火災等の原因となるものもあります。事故や事件の未然防止，利用者の安全確保の観点から，以下に留意してください。



実験前に使用する薬品の情報を確認



実験内容に適した保護具を着用



揮発性の高い薬品は局所排気装置の中で



薬品庫を定期的に整理 不要な薬品は適宜処分

当センターでは、毎年化学薬品の安全教育講習会を実施しています。新たに研究室所属した学生や大学院に進学した院生で化学薬品を使用する方は必ず受講してください。

## 2018年度安全教育講習会実績

- ✓ 新人向け安全教育講習会：2,083 名  
※化学薬品・高圧ガス・エックス線発生装置
- ✓ 廃棄物講習会：185名
- ✓ サークル向け安全教育講習会：236 名

### その他

- ◆ 生田キャンパス安全パトロール：10～11月実施
- ◆ 局所排気装置定期自主検査：11～12月実施

## 各種マニュアル・ルール

- 生田キャンパス 廃棄物マニュアル
- 実験系廃棄物マニュアル
- エックス線装置等に関する内規
- 高圧ガス安全マニュアル

**レーザー機器  
安全パトロール実施!!  
講演会共催!!**



### 編集後記：

- 手軽に気軽に食べられるカップ麺ですが、「スープ」は環境に配慮した廃棄をお願いしたいと思います。（本田 みちよ）
- 高圧ガスポンベは地震の際に動く怖いものです。ポンベスタンドに立て、二点固定など適正な管理を！（安保 充）
- 化学薬品もレーザー機器も使用する際には事前調査と安全教育，安全対策を徹底しましょう。（小池 裕也）

## 学校法人明治大学 生田安全管理センター

〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学生田キャンパス 東管理棟 2 階  
 TEL : 044-934-7974・7179 開室時間：月～金 9:00～17:00 / 土 8:30～12:00  
 URL : <http://www.meiji.ac.jp/safety/index.html>  
 E-mail : [i-anzen@mics.meiji.ac.jp](mailto:i-anzen@mics.meiji.ac.jp)

学校法人明治大学



生田安全管理センター